

# 論文の書き方ABC

## ～ 初心者向け論文投稿の手引き ～

日本診療情報管理学会  
編集委員会





# はじめに

論文作成は、「難しい」「自分には無理」と  
思っている方へ

論文の書き方には基本的なルールがあります。研究者や研究分野によりかなり違ってきますので、まずは自分の研究テーマ関連の優れた論文を精読し、論文の書き方や研究方法（お作法）を「まねて書いてみる」ことをお勧めします。

# 論文を書いてみる

とりあえず書いてみましょう！

学会論文投稿の敷居は、皆さんが思うほど高くありませんが、初心者の場合、一回の査読で終了とはならず、経験者による査読が複数回行われたのちに完成します。



完成(学会誌に掲載)した時の喜びは最高！  
成長(ONE UP)した自分に出会える



# 論文を書く心がまえ

---

## 成功させる3つのコツ

～壁にぶつかっても乗り越えられる方法～



## ① 幅広い知識を増やしておく

論文を書く時、最も大事なものは文章力やテクニックではなく、**知識**です。知識がなければ独創は得られない。知識があつてこそ、問題点が理解できる。そのため、論文を書くには、普段から様々な領域の知識を蓄えておきましょう。



## ②自分の発見を「伝えたい」という気持ち

論文を最後まで書き続けるには持久力が必要。いい加減な気持ちでは途中でくじけてしまう。そして、一番必要なのは**発見**であり、その発見を他の人に伝えたいという気持ちです。問題点をしっかり考え、自分なりに考えを深めて、何かを発見する。そのことを人に伝えたいという気持ちが必要です。



### ③自分の感性を信じてみよう

論文を書いているうちに自信がなくなってくるのがよくあります。その時に支えになるのが、自分の**感性**は正しいという信念(自信)です。何かを発見する時、殆ど感性で判断しています。直感的に感性で判断して「これだ」と思い、その後に論理的に裏付けていく。なるべく自分の感性を信じて、それを裏付けられないか努力してみましよう。必ず、道は開けて論文は書けるはずです。



ここからは・・・論文を書く時のお作法

---

## 注意点のまとめ





# 知っていますか？ 「論文」とは

**論文**は、学問の研究成果などあるテーマについて、自分独自の主張を論理的な手法で書き記した文章です。論文が作文とは違うことを理解しておきましょう。

作文は、経験や体験に基づいて自分の意見や考えを書いた文章です。

**論文**

**客観的・厳密**

事実は…である。

≠

**作文**

**主観的**

私は…と思う。

# 一般的な論文の構成

表題	論文のタイトル
要約	論文全体を短くまとめる
序論	何のためにこの研究をしているのか
方法	どういう方法や手順で行ったか
結果	研究の結果、何が判明したか 事実を具体的に記述
考察	問題自体や方法の妥当性などを議論
結論	論文の最終結論
参考文献	考察にあたって参照した文献
図表	結果などを理解しやすくするため

# 注意事項



- 明確な記載 : 主語、修飾語、目的語を明確に
- 客観的な記載 : 主観的・情緒的表現は不適切
- 余分な記載を避ける
- 筆者を主語としない
- 代名詞は避ける
- 用語の統一 : 専門用語集や辞書の定義に従う
- 図表表記の明確化、図表番号付記

## さらに… 「論文」は

---

- エッセー・随筆ではありません。
- ひとりよがりの文章ではありません。
- 読書感想文ではありません。
- 芸術作品ではありません。
- 先行研究のまとめではありません。

# 論文の必須三要素

---

## ◆ 新規性 *Originality*

いくら優れていても、だれかの二番煎じではいけません。  
新規性を保証するのは、地道な文献検索・サーベイです。

日頃から論文を読みましょう。

## ◆ 有効性 *Availability*

その研究がどう役に立つのかが有効性です。  
直接に何らかの製品に直結する必要はありません。

## ◆ 信頼性 *Reliability*

検討結果を支えるものが信頼性です。  
理論的考察に間違い・穴は無いか。  
いくら有効な方法でも、信頼できなければ役に立ちません。

# 論文の種類 (1)

---

## 1. 原著:

- 既知の事象に対し、新たな知見を独自の調査・研究の結果として、論理的に検証、有効性を客観的に証明
- 新しい手法や方法、新開発などを客観的(定量的、統計学的)に検討、有効性を有意差により証明
- 独自の調査により、新事実の発見、または新手法の開発などを検証、再現性を証明

## 2. 総説:

- 特定のテーマ(主題)に対し、諸説ある議論(論文・著作等)を総覧、多面的考察を加えて、現状の問題点、および将来展望などを総括
- 関連文献・資料を網羅し、賛否両論を含めて検討、客観的な考察を加える

# 論文の種類 (2)

---

## 3. 解説:

- 一定の説、方法などに関する、論理的、実践的な解釈や解説が目的
- 教育・指導的内容

## 4. 調査報告

- 研究班の活動や調査研究のまとめ
- 結果に関する有用性、従来のものとの相違を有意差として示すことが重要

# 論文の種類 (3)

---

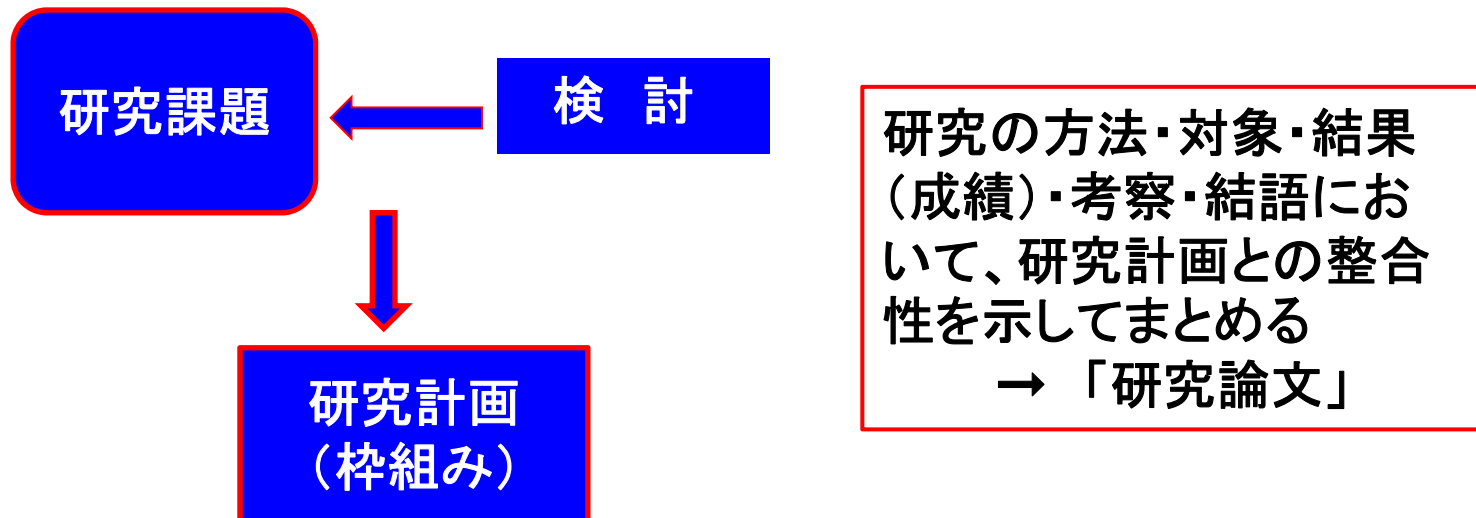
## 5. 事例報告:

- 一定の課題に対する調査結果(調査報告)、稀な事例(事例報告)を論文形式で記載
- 事例や課題に関する調査結果に関し、事象の頻度、状況、特徴的所見、新しい所見、対応・対処方法に関し整理
- 同様の事例や状況について調査資料と比較検討、反省点、対応策を考察、結論を導く



# 研究論文の基礎

- \* **研究仮説** : *Speculation*  
合理的な結論へ導くための「研究仮説」
- \* **実施計画** : *Frame work*  
根拠に基づいた研究仮説を実証するための「研究実施計画」



# 研究仮説・実施計画 ⇒ 研究

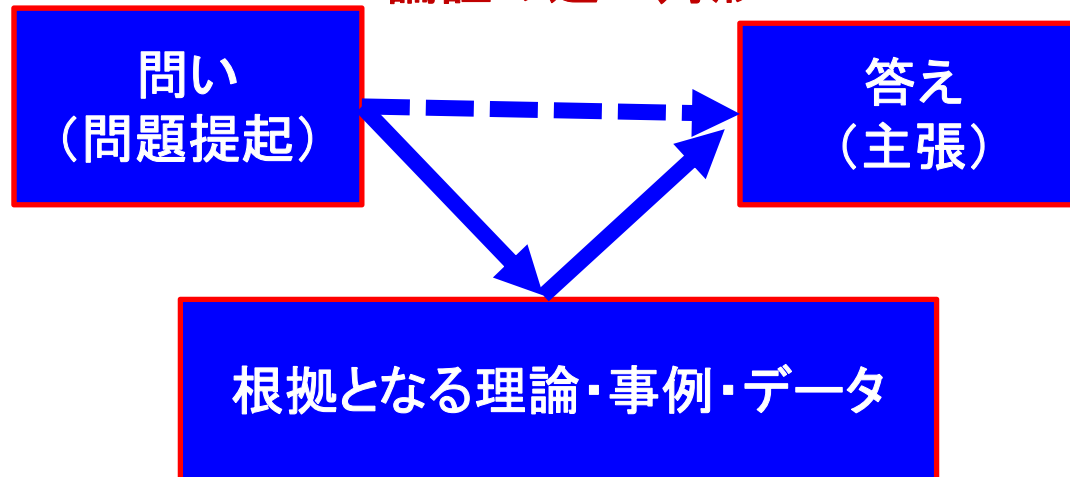
研究仮説



論証

都合のよい推論ではなく、  
関連資料を調査し、  
「論理的な推論」を組み立てる。

論証の逆三角形

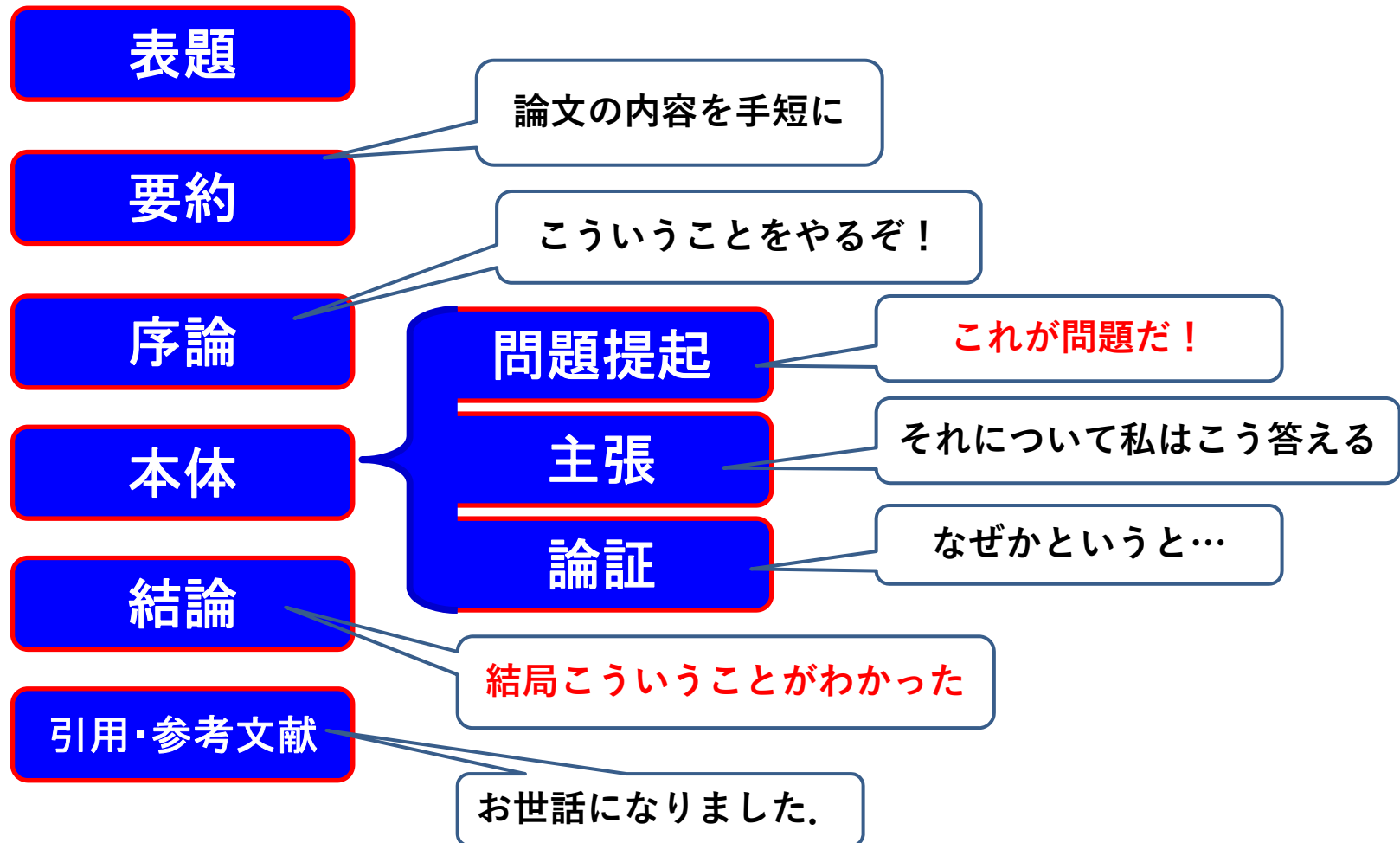


# 問題提起と問題の分析・定式化

---

- ◆ 問題の提示： どういう問題に取り組むのか
  
- ◆ 問題の説明： 問題がどういうものであるのか
  - ・ 問題の背景 - どうしてその問題が生じてきたかその現状分析
  - ・ 問題の重要性 - その問いに取り組むことにどんな意義があるのか
  - ・ 問題の分析 - 問題が大きいときにはいくつかの問いに分ける

# 論文の構成



# 論文作成の基本

---

- 論文は計画的に作成する(研究計画)。
- 既発表の論文を熟読し、理解を深める。
- 客観的推論・論理的考察が必須。
- 客観的記述に努める。
- 定型的構成に則り記載する。
- 記載ルールを遵守する。
- 良き指導者に学ぶ。

# 倫理的配慮



診療情報に関する記録とその管理および活用について、**論文として**学術調査・研究の実施とその成果の公表に際し、諸規則・指針を遵守して、個人情報保護や利益相反についても十分に配慮しましょう。

---

# 論文作成

## Q & A



## Q1. 論文のテーマの探し方はどうしたらよい でしょうか？

---

日々の業務の中で疑問に思うことが大事です。  
題材は現場に転がっているもの。  
例えば、問題点を考え、それを改善できるか？  
できたらそれがテーマになります。





## Q2. 英語が苦手です。表題の英文化はどうしたらよいのでしょうか？

- ◆ 英語の得意な人にアドバイスをいただきましょう。
- ◆ インターネットによる変換機能を活用してみてもよいかもしれません。

日本文 ⇒ 英文へ



### Q3. 何度も査読され、修正するのが大変ではありませんか？

- ◆ 誰もが通る道。より良い論文に仕上げていく上での通過点です。前向きに考えましょう。
- ◆ 一人で悩まず、論文経験者から助言、アドバイスをもらいましょう。
- ◆ 4～5回の査読は当たり前。くじけずに頑張りましょう。



## Q4. 文章を書くのが苦手です。何かアドバイスがあれば教えてください。

文章が長文になりがちではありませんか。  
上手く文章がつかれないときは、まずは、  
自分の書きたいことや伝えたいことを短文化  
して箇条書きにしてみましょう。次に、短文を  
つなぎ、追加や削除を繰り返し何パターンか  
文章をつくってみましょう。必ず、  
最適な文章(表現)が見つかるでしょう。



## Q5. 査読ではどのようなことが見られますか？

- 査読のポイントは以下のとおりです。
  - 投稿規程、倫理規定に則っているか
  - 論旨、結語は明確か
  - 論文種別は適当か
  - 論文の構成要素は適切か



